

1 内政

第33回、ミクロネシア連邦独立記念日式典が開催される

4日、ミクロネシア連邦の独立を祝う式典がコロニアの中国・FSM友好体育館にて開催された。式典には連邦政府関係者や伝統的リーダー、外交団等が出席した他、米空軍によるブラスバンドの演奏や女性団体による踊り等が披露された。

(10月4日付 カセレリエ紙)

スサイア・FSM駐米大使の宣誓式

11日、訪米中のパニュエロ大統領により、アキリノ・スサイア駐米大使とジャクソン・ソーラム同大次席の就任宣誓式が行われた。両者ともにクリスチャン大統領時代からの留任で、連邦議会の同意が得られていた。

(10月11日付 カセレリエ紙)

ヤップ州で起こった米国籍州司法長官代行殺人事件の容疑者が拘束される。

14日、ヤップ州で銃により殺害された米国籍のレイチェル・バージェロン・ハーマリントン司法長官代行の殺人事件に関し、31日、アンソニー・タン被告人とフランシス・チャイ・バッカン被告人が刑事告発された。タン被告人とバッカン被告人の裁判所での次回冒頭手続きは12月19日に予定されている。詳細は往電第738号を参照。

(10月31日付 カセレリエ紙)

テレサ・フィレピン・FSMグアム総領事の宣誓式

25日、パニュエロ大統領による、テレサ・フィレピン・FSMグアム総領事(留任)の宣誓式が行われた。ヤップ州出身の同総領事はクリスチャン前大統領の下で4年間、グアム総領事を務め、今回留任となった。

(10月25日付 カセレリエ紙)

FSM 政府、2回目のUNCACレビューを成功裏に実施

FSM政府は2回目のUNCAC(United Nations Convention Against Corruption)による反汚職レビューを、中国とシンガポールから来訪した薬物犯罪に関わる国連職員の下で実施した。今次レビューの結果はFSM政府が協力してとりまとめられ、問題点等が見つかれば善後策と共に報告される予定。FSMは2012年にUNCACに加盟している。

(10月25日付 カセリエ紙)

2 外交

日本の自衛隊輸送機がポンペイを訪問

11日、14名の乗組員からなる日本の自衛隊の輸送機がポンペイを訪問し、側嶋日本大使(designate)とライリー米大使が空港に出迎えた。その後市内のホテルで日本大使主催の歓迎会が催され、日本から持参した車いすが州立病院に寄贈された。歓迎会にはロバート外交担当大統領特別顧問(前外相)も出席した。詳細は往電第712号を参照。

(10月21日付 カセリエ紙)

パニエロ大統領、日本の天皇陛下の即位の礼に出席、安倍総理と会談

21日、日本の天皇陛下の即位の礼に出席するため訪日中のパニエロ大統領は式典に出席する前に安倍総理と首脳会談を行い両国の長年にわたる絆を確認した他、川勝静岡県知事出席のレセプションや日 FSM 友好議連主催の昼食会に参加した。詳細は往電第753号を参照。

(10月21日付 カセリエ紙)

FSM、米下院に提出された“Covering our FAS Allies”法案を支持

23日、トニー・カーデナス議員他によって、米下院に Covering our FAS Allies 法案が提出された。この法案は FSM を含む米在住のコンパクト同盟国の国民が米の医療保健サービス(Medicaid)が受けられることを目的としており、パニエロ大統領はこれを歓迎し、米の友人等と共にロビイングなどを通じて本法案の成立を目指したいと述べた。

(10月25日付 カセリエ紙)

ポンペイ州で国連DAYを祝う行事が開催される

26日、ポンペイ州で国連DAYを祝う行事が開催され、ポンペイ州の正副知事やポンペイ州に事務所を置く国連の機関が参加した。また、連邦政府を代表してリッキーカンテロ外相代行がスピーチを行った。

(10月26日付 カセリエ紙)

パニエロ大統領、コンパクト延長交渉事前調査のため訪れた、米・諸機関調査団と面会する

スーザン・ローレンス米務省オーストラリア・ニュージーランド・太平洋諸国担当

局長率いる、国務省、国防省、内務省を含む諸機関の代表一行が、米・FSM のコンパクト支援延長交渉に係る事前調査のため当地を訪問した。パニュエロ大統領は、今次訪問で両国の課題が明確になり、解決できることを期待する旨、また、とりわけインフラ整備に係るコンパクト支援が解放されれば、有効的かつ透明性高く支援を活用できる旨述べた。ライリー米駐ミクロネシア大使は、来年の早い時期に開催されるコンパクト合同委員会の会合に、ローレンス局長も参加できるよう働きかけている旨述べた。

(10月31日付 カセレリエ紙)

3 経 済

FSM が領海基線及び海洋区域の調査を国連に寄託

25日、FSM の代表団はニューヨークにて、国連 UNCLOS (United Nations Convention on the Law of Sea) に対し、FSM の海洋地図、領海基線及び海洋区域を表す地理座標のリストを寄託した。この領海基線は、領海、接続地域、排他的経済海域 (EEZ)、さらには EEZ を超えた大陸棚を測るため参考にされる。また、FSM は米国との海洋境界画定協定 (Maritime Boundary Delimitation Treaty) を国連条約局に提出した。寄託した公式書類には、大規模な図面、数百ページに及ぶ地理座標のリスト、EEZ、領海、FSM の基線を参照した接続水域が含まれる。

(10月25日付 カセレリエ紙)

4 経済協力

ナショナルコンベンションセンターの起工式が開催される

18日、ポンペイ州パリキールに於けるナショナルコンベンションセンターの建設工事に係る起工式が開催された。同計画は、FSM の姉妹都市である中国広東省政府からの寄付によるもので、首都パリキール内で行われる最大のプロジェクトとなる。同計画に関する MOU は2018年11月7日に締結された。中国は、FSM が新たな国連マルチカントリー事務所 (MCO) の受け入れ国となることを推進しており、FMS もこの目的で同センターが活用できることを期待している。詳細は往電第699号を参照。

(10月18日付 カセレリエ紙)

オケアノスがヤップ州デング熱に対する医療支援活動を実施

Okeanos Vaka Motu は、デング熱が蔓延しているヤップ州の17の離島に対して、薬の搬送や医療関係者の移動を、同団体のセーリング・カヌーを使用して支援した。

ヤップ州によると貨物船が利用できなかったため、同団体の支援は非常に感謝された。燃料モーターが設置されていない環境に優しい伝統的な同カヌーは、移動手段が限られている離島で人々の役に立っている。2012年に設立した同団体は伝統を守るため、現在フィジー、タヒチ、クック諸島、サモア、ニュージーランド、ハワイにおいて8つのセーリング・カヌーを使い活動している。

(10月26日付 カセレリエ紙)

パニエロ大統領、シンガポールに就業訓練及びカリキュラム開発の支援を要請

パニエロ大統領はパリキールにて、マシュー・シンガポール大使の表敬を受けた。両国は様々な事項に関して話し合ったが、最も関心が高かったのは、FSM がシンガポールに地域の職業教育センターにおける職業訓練の機会及びカリキュラム開発の支援を要請したことであった。パニエロ大統領は、FSM の全域をカバーする機関として、ポンペイ農業貿易学校(PATS: Pohnpei Agriculture & Trade School)を再開する計画について述べた。マシュー・シンガポール大使は、シンガポールは1992年からFSMを研修対象に入れている旨述べ、同計画を支援することへの興味を示した。シンガポールは、1992年にシンガポール協力計画(Singapore Cooperation Program)を開始し、これまでに128,000人、FSM国民から110人に対し研修を実施している。

(10月31日付 カセレリエ紙)

5 文化・教育

米大使館主催の文化行事がポンペイ州で開催され、人気の米アカペラ・グループ(KAZUAL)の講演がコロニア市内の OLM 高体育館や PICS 高体育館などで盛大に行われた。

(10月26日付 カセレリエ紙)